

シリーズ活き活きと
仲間と集う明日も共に



写真提供／電友会 青森支部

目次

ごあいさつ

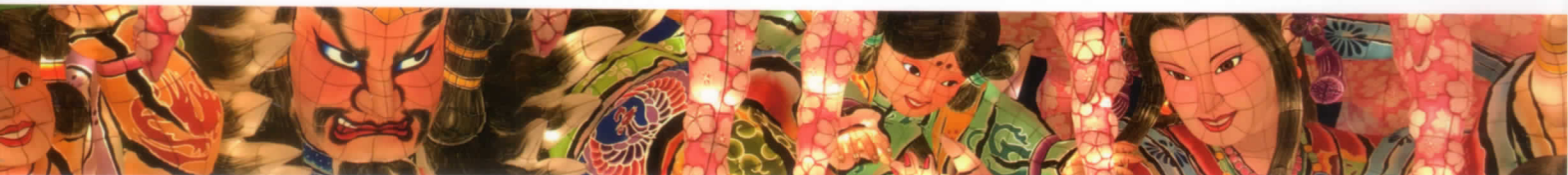
・NTT 東日本 宮城事業部 青森支店長	1
・支部長メッセージ 青森支部長	2
NTT グループ東北だより	3
震災コーナー	4
東北地方本部だより	5
各地区電友会だより	7
会員リレーコーナー	53

会友コーナー 文芸・随想	59
でんでんみちのく川柳コーナー	63
NTT 東日本から退職者の皆さまへ	64
編集後記	65

発行／電友会東北地方本部

電友会東北

検索



ごあいさつ

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 青森支店長

越 智 徹 二



東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

7月1日付けで、青森支店長に着任しました越智徹二（おちてつじ）と申します。

青森での勤務は初めてですが、前職が宮城事業部の企画部でしたので、同じ東北グループ（チーム東北）の一員として出張等で何度か訪れたことがあり、「特徴的で神秘的で魅力的な場所や美味しいものがたくさんある」イメージを持っています。ただ残念なのは、今年はねぶたをはじめとするお祭りがないことです。本当に残念です。まずはねぶたで社員やOB・OGの皆さん、地域の皆さんと一緒に眺ねて、一気に青森に溶け込みたかったところです。

新型コロナウイルスの感染拡大で、産業も、生活も、そして文化にも大きな影響を受けています。

このような中、NTT東日本グループは、地域密着の強みを活かし「ICTで、地域社会を支える企業」として地域社会・経済の活性化に貢献していくことを基本方針に、「変革の三本柱2・0（①情報通信事業のオーガニクな成長、②地域活性化への貢献、③デジタルトランスフォーメーションの推進）」の完遂に向け取り組んでおります。

NTT東北グループとしてもその実現に向け、AI・IoT技術を活用し、人口減少・少子高齢化による人手不足や企業におけるIT人材不足また、コロ

ナ禍により社会が大きく変わろうとしている今、東北地域が抱える課題の解決に積極的に取り組んでいるところです。

従来の地域活性化は「人を呼び戻す」「人を集める」ことで賑わいを創出するイメージでしたが、今は人の密集をいかに避けるかが問われています。リアルに人が集まらない前提で、どうやったら青森、東北を活性化できるのか。発想の転換が求められています。

これまで当たり前に出費していたお金をつかう機会を失った人が、「それを何に置き換えるのか」を考えると、そこにチャンスが生まれます。またリモートワークの浸透で、働く場所を選ばないワークスタイルが進み、人の密集した首都圏で勤務することを敬遠する風潮が広がる中、人口密度が低く、通勤ラッシュのない地方は労働者を呼び込むチャンスです。

地域の皆様の様々な声に耳を傾け、より豊かな生活を営むことができるよう安心・安全な暮らしを守り、社会や企業の課題解決に貢献していきたいと考えております。

最後になりますが、東北電友会の皆様にはこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますとともに、東北電友会の益々のご発展、並びに会員の皆様のご健康・ご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



青森支部長

千葉 哲泰

最近思うこと

電友会東北地方本部の会員の皆様、年明けからの新型コロナウイルス感染防止対策による外出自粛や県外移動の自粛で旅行も出来ないなどで人生初めての対応を余儀なくされ、不自由な生活をおくられていることと思います。はじめは、中国武漢市のニュースを見てこのようなことが起こるのか?と目と耳を疑いましたが、他人事のように思っておりません。2月はまだ青森県にも中国や韓国などから多くの観光客が来ておりました。そんな折あのダイヤモンド・プリンセス号のニュースが飛び込んでまいりました。ものすごい感染性により、あっという間に2000人3000人と増え続け700人を超える感染者を数えるようになりました。そうこうしているうちに芸能人の志村けんさんの感染・死亡ニュースが飛び込んできて更には女優の岡江久美子さんが感染により亡くなりました。とってもショックな出来事でした。

私自身一人暮らしのものですので普段から

外食が多い生活を送っておりまして、週に2、3日は夜の地域経済貢献活動と称して夜散歩をしていたわけですので、食生活にはこれまでに以上の不便さを感じた時期でした。

スーパーの惣菜や出前そしてテイクアウトは大分お世話になりました、自らの料理の腕も若干上がったのでは?と思っておりますが(笑)

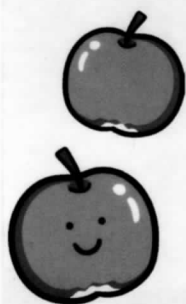
このような機会に思ったことは、世の中の便利さや生活様式の変革について考えることが多くなって参りました。たまたま私はいま「あおもりコンピュータ・カレッジ」で仕事をしております、卒業式・入学式にはご家族の皆さんや来賓の皆様に参加して頂き、従来通りの式を行ってりましたが、今年はコロナ感染拡大防止対策のため、いつもお世話になっているご来賓の皆様にご遠慮して頂き学生の座席の間隔をとるなどして簡略的な格好で式典を実施いたしました、案外終わってみると時間も短縮できて、贅肉のとれたスッキリした式典も良いものかという感じを受けたものでした。同じように我々がこれまで何の疑いもなく普通におこなってきた生活には、無駄な見栄とか形式など省けるものも多くあるのではないかと思います。ただし、周り皆さんの理解が必要ですがねえ。

コロナウイルス感染防止対策として「テレワーク」という言葉が特に聞かれる今日この頃ですが、在宅勤務ということでは20年以上前「マルチメディア推進室」に在籍していた際には、「ワнтаイムパスワード」を付与して自宅からログインし仕事をしたことを思い出しました、労働組合には注意されましたが(笑)、まさに働き方改革だったのではないのでしょうか?

あの時代から国策としてITを進めていた、中国や韓国そしてインドなどに引けを取らないIT国家になっていたのではないのでしょうか?

いずれにしても、新型コロナウイルス感染はまだまだ続きそうな様相を見せておりますので、電友会会員の皆様そしてご家族の皆様も含め、ご高齢でもありますのでさらに感染防止に努めて、元気にサークル活動等にご活躍ください。

追伸 マスクをしているとお若く見えるそうですね!!



◆NTTグループ東北だより

◎新型コロナウイルスによる仕事の変化

1月に国内で初めての感染者が確認されて以降、日本国内の感染者数は、3月に入ってから急増し、宮城県においても94名(6月末)の感染者数に至っています。国内の動向としては、東京都等7都府県を対象に発出された「緊急事態宣言」も4月16日には東北6県に拡大されこれまで経験したことのない外出自粛等の状況となりました。社内における感染防止対策としては、日々体温を確認する等社員の健康管理はもちろん、在宅勤務の実施や職場及び食堂における3密の回避等を実施してきました。結果東北におけるNTTグループの感染者はゼロとなっております。(6月末)

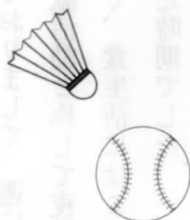
◎スポーツクラブ後援会情報

毎年夏の会報でご報告しているNTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動についてです。

「東北マークス(ベースボール・バドミントン)」の活動にも新型コロナウイルスが大きく影響しております。ベースボールクラブは5名、バドミントンチームは1名の新人選手を迎え、今期の飛躍に向けて動き出そうとした矢先、各種大会も中止となり、また全体練習も自粛せざるを得ない状況となりました。そんな中、両クラブともに8月から大会の開催も見え始め、6月から全体練習を再開し昨年度以上の成績を収めるために日々練習に励んでおります。是非、試合会場やグラウンドに足を運んでいただき、ご声援をいただければ選手の励みとなりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、昨年度の後援会会員募集に際しても、多くのOB・OGの皆様方にご賛同頂いたことに対して、東北マークス各クラブの選手・チームスタッフも心より感謝しております。

(スポーツクラブ後援会事務局長)



NTT Communications

今日と未来の間に。



大槌会の皆さんと踊ってますよ



音楽がなればすぐ明るく立ちあがります

2020年1月26日、遠野第三区自治会館にて大槌会の皆さん25名ぐらいと交流会をしました。私達は昔話、踊り、カラオケ等、一緒に楽しみました。大槌会の方々は手づくりのオカラだんご、飲み物、おやつ等セットで用意しておりました。

◎大槌会と交流会開催

遠野地区電友会



2011年3月11日、一生忘れる事の出来ない東日本大震災。震災を受けた沿岸地区の方々は仮設住宅が遠野に出来たので多くの人が避難して来て地域の人達と心を合わせて遠野の住民となり暮らしておりました。市でも地区でもいろいろの行事にも参加していただき、お声に寄り添いそしてサポートセンターにもOB会でも訪問したりして共に楽しみを活動の一環としておりました。

それから8年、9年となり、それぞれ個人で遠野に家を建てて住む人、復興住宅に移った人等で、仮設住宅は終わりを迎えました。そんな時に大槌の人達から、大槌会は解散しないので月1回は皆さん集まって近況報告やら、お楽しみ会をやっているから、ぜひNTTのOB会でも「ご一緒にしてもらいたい」と会長さんから言われ、私達も顔見知りの方々もいるのでなつかしく喜んで参加しました。皆さん明るくて逆に元気をいただき、時間も

延長して共に喜びあいました。10年目になりますがいつも耳を傾け寄り添い、思いを忘れず健康に気をつけて、またお会いしましょうと散会しました。そして3日後にはご馳走になったオカラだんごをOBルームでつくり、思い出を倍にしました。おいしかったです。



2020/01/29

このだんごがごちそうになったのです。OBルームでみんなで作りました



昔話もしました。笑ってくれました



2020-01-26 この時は昔話を聞いているのかな？

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎電友会幹部会議

2年2月20日、東京で計画していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議となりました。「令和2年度事業計画及び各地方本部の施策紹介」等の情報交換を行ったほか、「自然災害に伴う被災会員への見舞金の支払い」、「でんちゃん」団体割引スキームの見直し」について審議しました。

◎全国事務局長会議

2年2月21日、東京で計画していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議となりました。「定期報告の見直し」「ボランティア活動表彰の実施報告」等について報告がありました。

◎第2回支部長・事務局長会議

2年3月5日、NTT五橋ビルで開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議となりました。2年度事業計画

の意見交換、ボランティア活動賞の推薦、台風19号被災会員へのお見舞、本部幹部会議模様等について審議・報告が行なわれました。

◎地方本部臨時常任理事会

2年3月23日、事務局にて開催。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、地方本部会議の開催方法について審議し、地方理事会、評議員会は書面会議とすることとしました。

◎地方理事会

2年4月23日開催予定でしたが、常任理事会の決定を踏まえ書面会議で行いました。この中で評議員会の書面会議方式の決定及び2年度地方評議員会議案書審議、地方本部長表彰等を諮り、各理事（支部長）の賛同により議決しました。

◎東北地方本部評議員会

令和2年5月20日開催予定でしたが書面会議となりました。各評議員（地区会長等）へは議案書を送付し、元年度事業報告並びに2

年度事業計画、役員改選等について審議していただき、議決ハガキにより全て原案どおり可決承認されました。

今年度の地方本部長賞として決定した支部・地区役員を長年務め退任された6名の方、ボランティア活動に長年取り組んできた1名の方への感謝状の贈呈について、今年は地区、支部等から行っていました。

◎台風19号による被災会員へのお見舞い

元年10月12日から13日にかけて東日本を通過した台風19号により甚大な被害を受けた宮城、福島、岩手の会員13名の方に電友会よりお見舞いを贈呈しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く穏やかな生活に戻られますことを祈念しております。

◎ボランティア活動

例年、震災復興支援ボランティア活動として参加している「気仙沼大島海岸林再生活動」及び「東松島市海岸防災林再生活動」については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。コロナウイルスの影響が解消されれば、「チームNTT」として積極的に参加してまいります。その際は、会員の皆様のご参加をお願いします。

◎高齢者叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(叙位・叙勲) (支部名) (ご氏名)

瑞宝双光章 宮城 佐々木修一様

(令和元年12月～令和2年6月まで)

◎物故会員の叙位・叙勲

次の方々は、生前のご功績により、それぞれのご逝去の日をもって叙位・叙勲の榮譽に浴されました。

(叙位・叙勲) (支部名) (ご氏名)

瑞宝単光章 福島 馬目 一様

瑞宝単光章 秋田 石川美津弥様

瑞宝単光章 福島 矢吹重太郎様

瑞宝単光章 福島 大島久仁夫様

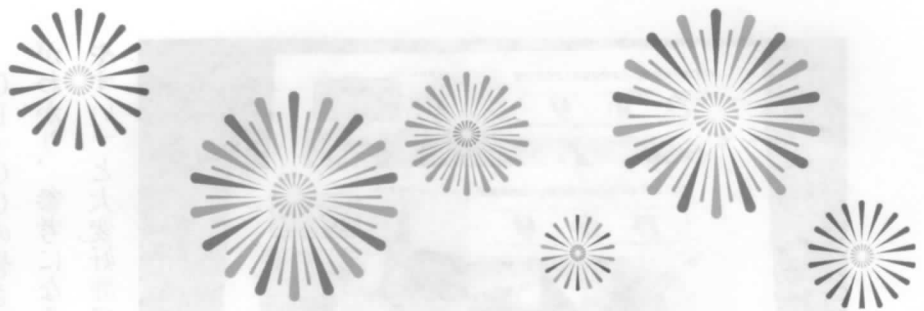
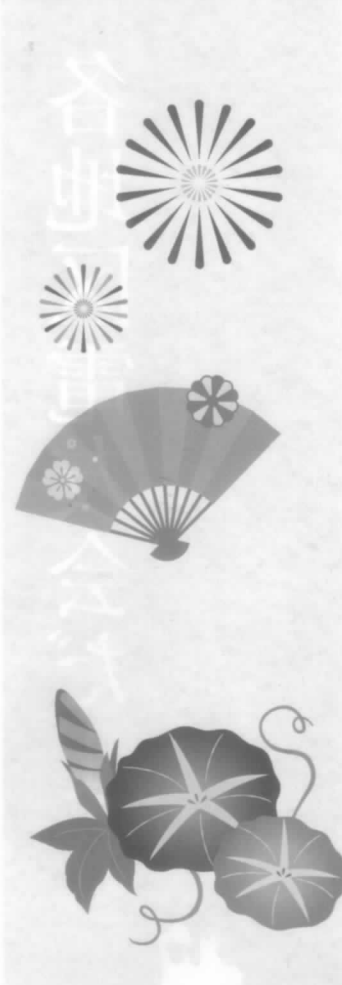
瑞宝単光章 宮城 及川 正流様

瑞宝単光章 福島 栗原 信幸様

瑞宝単光章 山形 高橋 常夫様

正六位 宮城 小柳 芳雄様

(令和元年12月～令和2年6月まで)



スピーディに、誠意を持って

企画 | 総合印刷 | グラフィックデザイン | コンテンツデザイン

株式会社 仙台紙工印刷

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14 TEL.022(231)2245(代) FAX.022(231)2247

URL◎<http://www.sendai-shiko.jp/> E-mail◎info@sendai-shiko.jp

高品質・安全をお客様へ—(株)仙台紙工印刷は下記の認証を取得しています



印刷機械のメンテナンスと数値管理等によって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力を認められました。



法規への適合と、自主的に高いレベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用していることを認められました。